

古楽譜ファクシミリの取り寄せ方法 (No. 1)

はじめに

古楽が隆盛となるに従い、古楽譜のファクシミリ版も数多く出版されるようになり、今日では幅広く手軽に入手できるようになりました。それでもなお、未出版の古楽譜も数多く存在し、そのような楽譜のファクシミリ版をどのように取り寄せるか、その方法についてシリーズで具体的に解説したいと思います。

1. 調査方法－取り寄せたい楽譜がどこにあるか調べる。

(1) RISM(Répertoire International des Sources Musicales)データベースで調べる方法

最も網羅的な調査が可能で、このデータベースで見つからなければあきらめなければなりません。またSeries A / Iのデータベースを利用する場合、一般的には音楽大学の図書館等に出向く必要があります。

RISMは、現存する音楽文献について、データベースを網羅的に構築している、国際的非営利団体です。

RISMデータベースには、楽譜の種類(印刷譜、手稿譜)に応じて2種類あります。

従って、取り寄せたい楽譜が印刷譜か、手稿譜(自筆譜を含む)かにより、使用するデータベースが異なります。

取り寄せたい楽譜が印刷譜の場合、Series A / Iのデータベースを用います。

Series A / Iのデータベースは、ベーレンライター社より冊子形態の目録全9巻として出版されており、音楽大学(例えば、国立音楽大学)の図書館等で利用可能です。

取り寄せたい楽譜が手稿譜の場合、Series A / IIのデータベースを用います。

Series A / IIのデータベースは、現在ウェブで公開されており(下記参照)、これを利用して検索可能です。

種類	期間	データベース	データベースの形式
印刷譜	1600～1800年	Series A / I	目録全9巻(ベーレンライター社より出版)
手稿譜	1600年～	Series A / II	オンラインで検索可能 http://www.rism.info/en/service/opac-search.html

例1.

G.F.Handelの、トリオソナタ作品2の印刷譜を取り寄せたい場合

Series A / Iの、第4巻、Handel, Georg Friedrich、2. Kammermusik、「Toriosonaten」の項(p.69)に、次のような記載があります。

VI Sonates à deux violons, deux haubois ou deux flutes traversieres & basse continue... second ouvrage. - Amsterdam, Jeanne Roger, No.535. - St. [H 1346

GB BENcoke, En, Lbm, Lcm, Ob

○"VI Sonates à deux violons, deux haubois ou deux flutes traversieres & basse continue" は、出版時のタイトルです。

○"second ouvrage" は、「作品2」を表しています。

○"Amsterdam, Jeanne Roger" は、出版業者と出版地を表しています。

ここで重要なのは、最後の行です。

○GB BENcoke, En, Lbm, Lcm, Ob

GBは、所蔵元が所在する国名を表しており、この場合英国(Great Britain)です。国の略号は、各巻頭にアルファベット順に掲載されています。

BENcoke, En, Lbm, Lcm, Obは、それぞれ図書館の略号です。

BENcoke : Bentley(Hampshire), Gerald Coke Private Collection
En : Edinburgh, National Library of Scotland(スコットランド国立図書館)
Lbm : The British Library(大英図書館)
Lcm : Loyal College of Music(王立音楽院図書館)
Ob : Oxford, Bodleian Library(オックスフォード大学、ボドリアン図書館)

所蔵元の略号は、各巻頭に、国の略号に続いてアルファベット順に掲載されています。

この場合取り寄せ先は複数存在しますが、なるべく主要な図書館を選択するのが、後の検索等で便利です。

<主要図書館の例>

The British Library(大英図書館)
Bibliothèque nationale de France(フランス国立図書館)
Library of Congress(米国国会図書館)
Staatsbibliothek zu Berlin(ベルリン国立図書館)

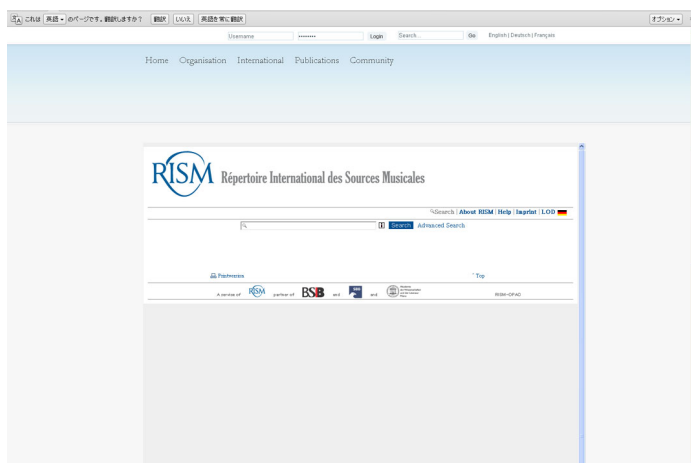
この場合は、大英図書館で取り寄せることとします。
大英図書館のホームページでの検索は別途説明します。

例2.

J.S.Bachの、フルートオソナタ、BWV1030の手稿譜を取り寄せたい場合

<http://www.rism.info/en/service/opac-search.html>

にアクセスし、検索します。



RISMのホームページでの検索は別途説明します。

(2) 作曲家別の作品総目録で調べる方法

作曲家別に出版された作品総目録が手元があれば、いつでも確実に検索可能です。無い場合は、音楽大学の図書館等を利用します。

但し、作曲家によっては総目録が出版されていなかったり、絶版になったりしており、具体的な調査対象に応じて調査方法を検討しなければなりません。

例えば、J. S. Bachの場合、下記の叢書が大変役に立ちます。

バッハ作品総目録 (バッハ叢書 別巻2) 角倉 一朗 (白水社)

L. van Beethovenの場合、下記事典が役立ちます。

ベートーヴェン大事典 / バリー・クーパー原著監修 ; 平野昭〔ほか〕訳

また、フルートに限れば、“Flute Music of the 18th Century”、Frans Vester (MUSICA RAR)も大変有用です。

(3) 主要な図書館のホームページの検索機能を使用して調べる方法

パソコンさえあれば、自宅でホームページにアクセスしてすぐに調査することができます(英語の読解力は必須)。

但し、作曲家毎に網羅的ではないため、検索で見つからない場合には、(1)RISMデータベース、(2)作曲家別の作品総目録でさらに調べる必要があります。

例えば、

G. F. Handelの作品の多くは、大英図書館に所蔵されています。

フランスの作曲家(例えば、M. Marais、F. Couperin等)の作品の多くは、フランス国立図書館に所蔵されています。

J. S. Bachの自筆譜、手稿譜の多くは、ベルリン国立図書館に所蔵されています。

一般的な作品であれば、この方法でヒットする可能性は高いと思われます。

それぞれの図書館のホームページにアクセスして検索する方法は別途説明します。

